

資 料 提 供

令和8年4月10日(金)

自然環境課

外線 076-225-1475/内線 4260

文化財課

外線 076-225-1840/内線 5620

県内のコウノトリのヒナ誕生について

津幡町内の人工巣塔の上で営巣していたコウノトリのペアに、ヒナが誕生していることが本日までに確認されました。県内でのコウノトリのヒナ誕生は5年連続となります。

<コウノトリについて>

ワシントン条約附属書Ⅰ、国特別天然記念物、国内希少野生動植物種に指定されています。国のレッドリストでは絶滅危惧ⅠB類、いしかわレッドデータブックでは絶滅危惧Ⅰ類に選定される絶滅危惧種の鳥類です。

2月から営巣、3～4月に産卵、4～5月にふ化、7月上旬ごろまでに巣立ちとなります。主にマツの高木の他、電柱にも営巣します。湿地や水田でドジョウ、カエル、バッタなどを採餌します。

<日本産コウノトリの絶滅とこれまでの人工繁殖・放鳥>

昭和46年に野生下、昭和61年に飼育下のコウノトリが死亡し、日本産コウノトリは絶滅しました。昭和60年以降、兵庫県が旧ソビエト連邦（ハバロフスク地方）のコウノトリから人工繁殖・放鳥を進め、近年、生息数が増加しています。令和8年2月28日時点で、国内の野生推定個体数は546羽となっています。

<石川県内への飛来状況>

兵庫県を中心に生息し、全国各地に飛来が確認されています。県内では平成30年から記録を集計し、令和8年4月までに9市7町で飛来が確認されています。

<取材について>

コウノトリの静穏な環境維持の観点から、現地取材はご遠慮下さい。また、詳細の内容および写真データについては、下記までご連絡をお願いします。

・津幡町教育委員会生涯教育課（連絡先：076-288-2125）



津幡町内のコウノトリの親とヒナ（日本コウノトリの会 撮影）